

チェリーツリー・キャロル

1 ガリラヤで

ヨセフがマリアと結婚したとき
ヨセフはすでに老人でした
すでにヨセフは老人でした

2 実り豊かな果樹園を

ヨセフとマリアは散歩しました
血のように真っ赤な
チェリーとスグリがなっていました

3 緑豊かな果樹園を

ヨセフとマリアは散歩しました
見るもたわわに
スグリとチェリーがなっていました

4 そのとき マリアが

やさしく小さな声で言いました
「ヨセフ チェリーをひとつもいってください
お腹なかに赤ん坊がいますから」

5 すると ヨセフが

冷たく大きな声で言いました
「おまえに子供を孕ませた男に
もいでもらえばいいだろう」

6 すると マリアのお腹なかから

赤ん坊が言いました
「お母さんの手が届くよう
いちばん高い木よ たわめ」

7 いちばん高い木がたわみ

マリアの手元に下りてきました
「ごらんなさい ヨセフ
チェリーに手が届きます」

8 すると ヨセフは言いました

「おまえに悪いことを言ってしまった
でもマリア 元気を出して
悲しい顔はやめてくれ」

9

血のように真っ赤なチェリーを
マリアはひとつもぎました

そうして 重いお腹なかをかかえて
家に帰ってゆきました

10 マリアは 生まれた赤ん坊を

膝かたにのせて言いました

「愛する息子よ 教えておくれ

この世の先はどうなりますか」

11 「お母さん ぼくはそのうち

壁石かきいしのように死ぬでしょう

そしてお母さん 道端の石ころが

ぼくのために嘆なげくでしょう

12 「復活イースター祭まつりの日に お母さん

ぼくは復活し

お母さん 太陽と月が

ぼくといっしょに昇るでしょう」

(山中光義訳)